

水稲の優良品種選定に向けて田植えを実施

「日本晴」熟期の水稲品種には、「コシヒカリ」や「ヒノヒカリ」のような市場性の高いブランド品種がないため、この熟期の優良品種の選定に力を入れています。平成15年からは、近畿中国四国農業研究センターと近畿中国四国地域15府県の農業試験場が共同でこの熟期の優良品種を選定の取り組みを行っています。昨年までの結果から、基幹品種候補として「きぬむすめ」が選定され、同地域で広く栽培されることが期待されています。

本年は、この「きぬむすめ」を含む有望な1品種2系統について、農総研の他、京都市内の現地ほ場で栽培し、京都府における栽培特性を調査します。



正確な品種特性の把握のため手植えを実施